

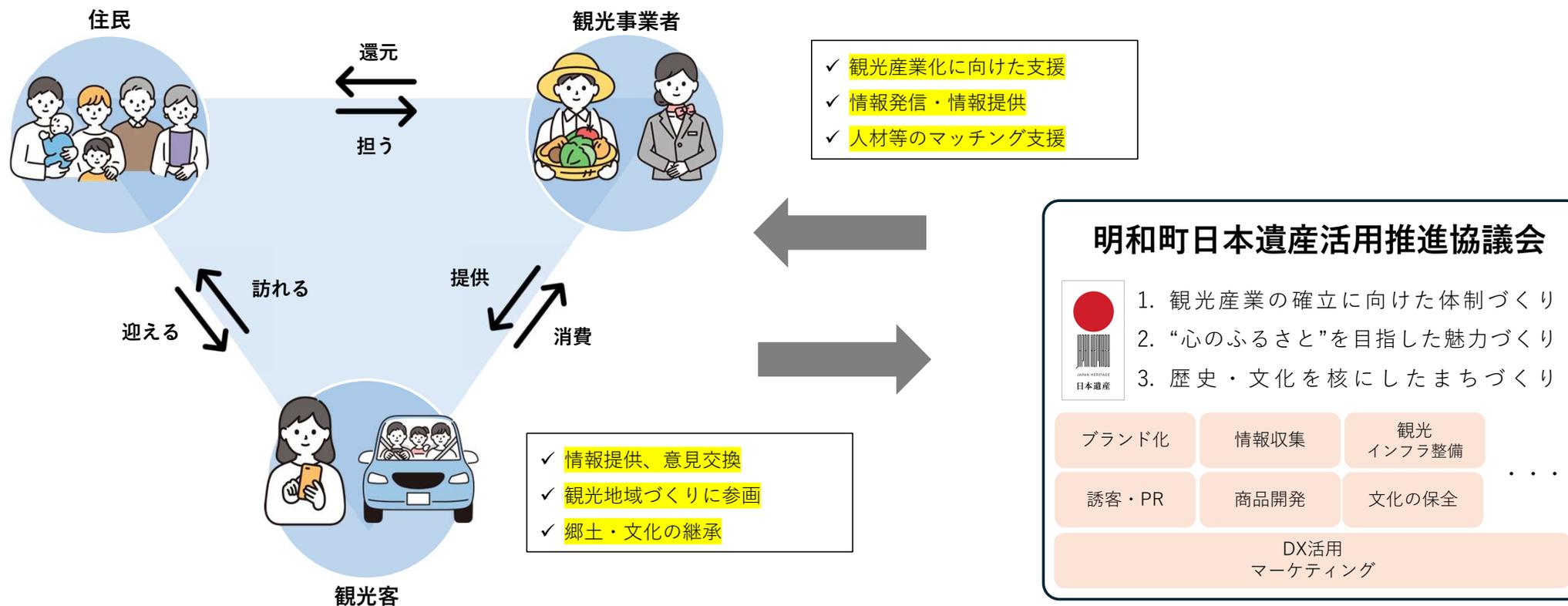
第4章

“みんなで作る” 持続可能な地域づくり

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 計画推進の全体像 | P 25 |
| 2. 明和町日本遺産活用推進協議会 | P 26 |
| 3. 計画のスケジュール | P 27 |
| 4. 評価と改善 | P 28 |

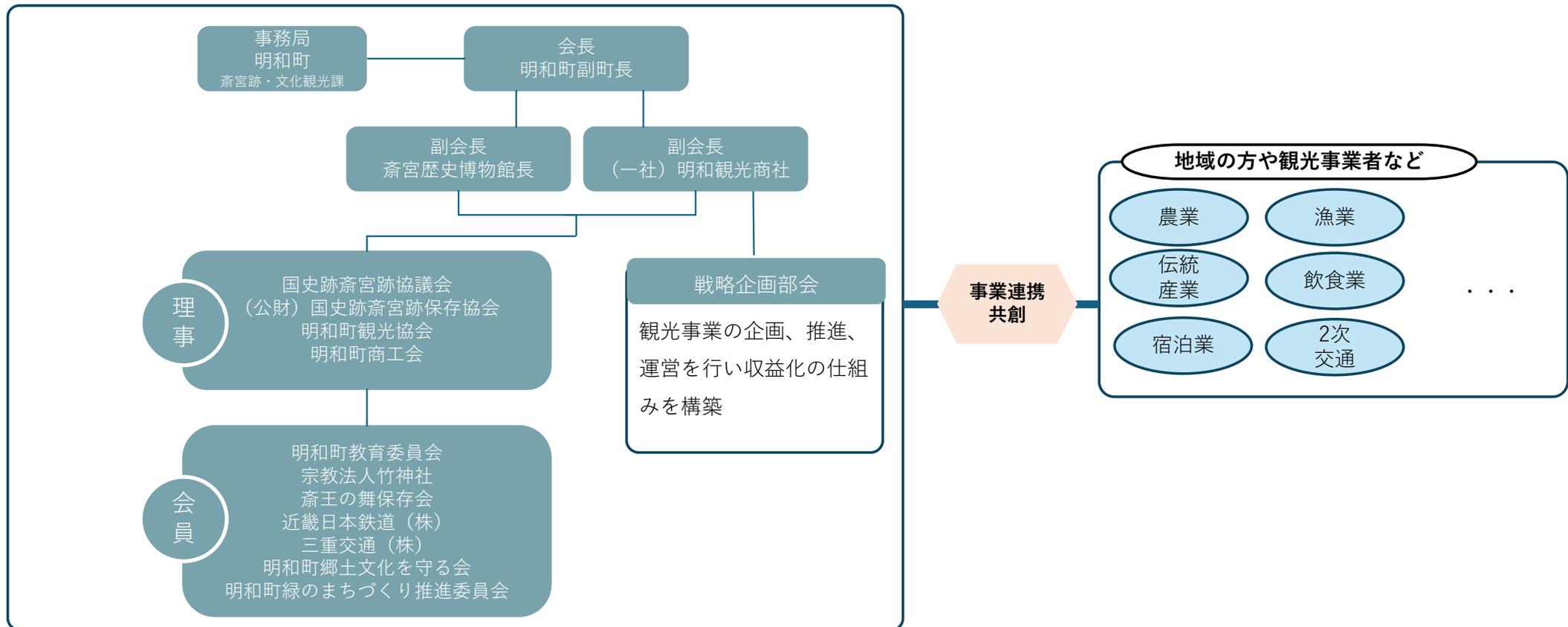
1 計画推進の全体像

本計画を推進し、観光ビジョンを達成するために、「明和町日本遺産活用推進協議会」が地域・事業者・行政をつなぎ、観光客との接点を生み出す「地域のハブ」としての役割を担います。明和町に息づく歴史・文化をまち全体で守り、育て、伝えるため、明和町日本遺産活用推進協議会が中心となって関係者間の連携を強化し、地域資源を活かした観光まちづくりを牽引します。また、住民・事業者・来訪者の三者を結びつける架け橋として、多様な協働と新たな価値創出を生み出し、持続可能な地域づくりに寄与していきます。



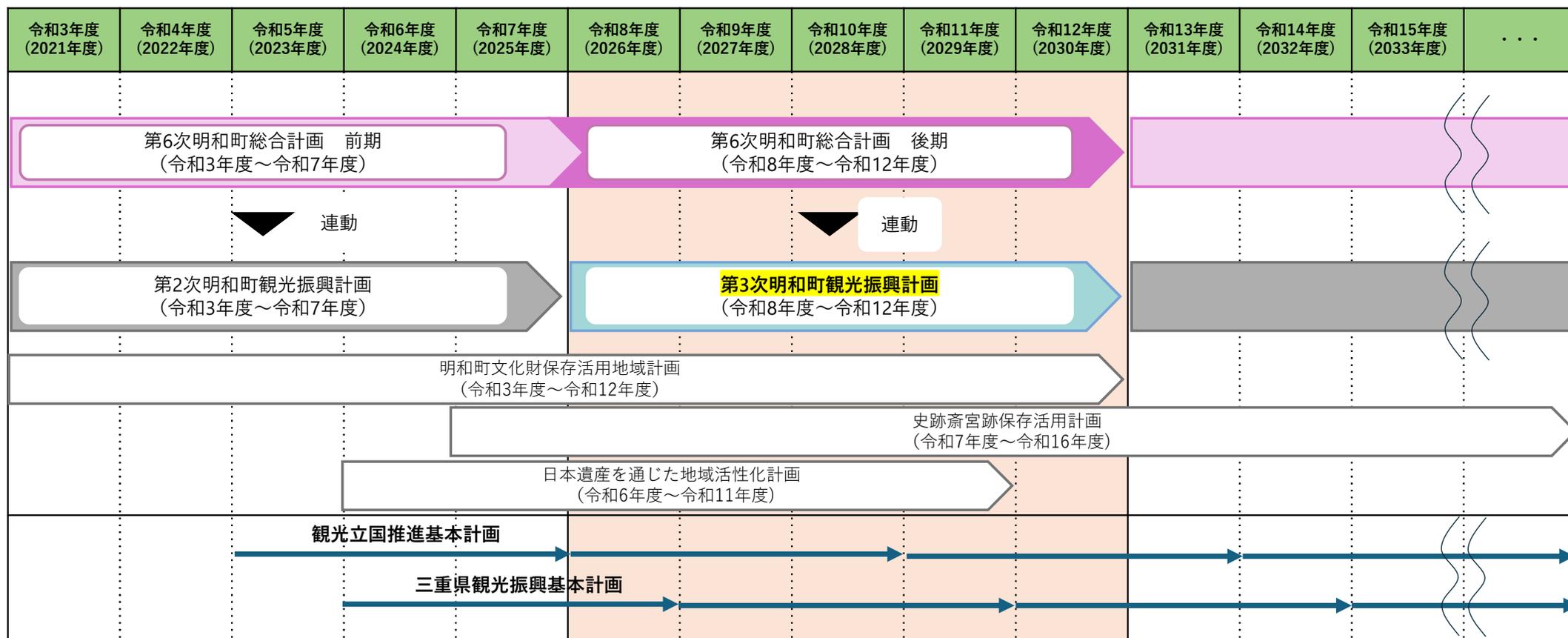
2 明和町日本遺産活用推進協議会

地域住民をはじめ各分野でそれぞれ活動している組織が加盟している「明和町日本遺産活用推進協議会」は平成27年に文化庁から日本遺産に認定されたことを契機に発足いたしました。この明和町日本遺産活用推進協議会を主軸とし効果的かつ効率的な文化観光の振興を図っていくために、加盟団体の長所を活かした役割分担を明確にしていくとともに、新たな加盟組織を増やしていきます。



3 計画のスケジュール

明和町観光振興計画は、5年間を計画期間として策定し、観光地域づくりの着実な推進を図るものです。また、観光を取り巻く社会情勢の変化や、施策の進捗状況、PDCAサイクルによる評価結果を踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しや改善を適宜行うこととします。これにより、時代の変化に柔軟に対応しつつ、持続可能で実効性の高い観光振興を目指します。



4 評価と改善

観光庁が作成した「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を活用し、本計画を策定しています。JSTS-Dを評価指標とし、本計画に基づいた取組の自己分析を定期的の実施し、関係者や地域に共有・公表を行いつつ改善していきます。

JSTS-Dの役割

✓ 自己分析

自己分析（診断）を通じて得意・不得意分野、未達成の課題などを客観的・定量的に把握することで、地域が目指す姿やとるべき施策を明確にする

✓ コミュニケーションツール

自己分析を行い、その結果を公表することで、住民や事業者を含めた地域と現状を「共有」する

✓ プロモーションツール

国際基準に基づいて持続可能な観光の実現に取り組むこと自体が、地域の取組に箔をつける



JSTS-D

A.持続可能な マネジメント	戦略1	1-1-④、1-3-①②③
	戦略2	2-1-①②、2-3-③
	戦略3	3-2①②
B.社会経済の 持続可能性	戦略1	1-1-①②③④、1-2-①②③
	戦略2	2-2-③
	戦略3	3-1-②③、3-2-②
C.文化の 持続可能性	戦略2	2-1-①②③、2-2-①②③、 2-3-①②③
	戦略3	3-1-①②、3-3-①②③
	戦略1	1-1-②④
D.環境の 持続可能性	戦略2	2-1-①、2-2-①②③
	戦略3	3-1-①③、3-3-①②③

自己分析

共有・公表

改善

